



小川村章

小川村議会報  
第198号

# 議会だより

発行 小川村議会

〒381-3302 長野県上水内郡  
小川村 大字高府 8800 番地 8

TEL (026) 217-1246

FAX (026) 269-3578 (代)

Eメール: gikai@vill.logawa.nagano.jp

発行責任者 小林和人

議会報編集特別委員会

印刷 (株)西条印刷所



大豆脱穀機を更新(2台)  
新たな機動力として活躍を期待

## 令和3年9月定例会

令和2年度決算を認定

議案賛否一覧表

一般質問(質問順)

鎌倉 一夫議員

新井 幹夫議員

西沢榮之助議員

久田 茂男議員

2

4

5

6

7

8

常任委員会活動報告(閉会中の調査)

総務建経常任委員会

社会文教常任委員会

9

10

就任あいさつ

正副議長・常任委員長

第17代後半議会構成

議会の動き

編集後記

11

12

12

12

# 感染症対応臨時交付金は村財政に寄与 令和2年度 小川村歳入歳出決算を認定

令和3年9月定例会は、9月2日から10月1日までの30日間開かれ、令和2年度小川村歳入歳出決算の認定をはじめ、条例案4件、計画策定1件、補正予算案6件、人事案1件の計13議案を審議した。提出された議案はすべて原案通り認定・承認・可決した。

また、一般質問には4名が登壇し村政について質した。

## 議案第46号 一般会計・特別会計決算

### 決算の概要

一般会計の歳入の決算額は前年度比0・9%増の31億7千3百万円余、歳出決算額は前年度比2・1%減の29億5千5百万円余、特別会計の合計歳入決算額は14億5千8百万円余、歳出決算額は14億1千1百万円余となり、両会計合計の繰越額は2億6千5百万円余りとなった。

そして、当初予算では財政調整基金を取り崩したの予算編成であったが、感染症対応臨時交付金を有効に活用することにより、取り崩さずに

決算することができた。

また、村の貯金である基金の現在高は30億7千9百万円余で、借金である村債は、36億3千5百万円余である。

村の財政の健全化を判断する4指標(下段別表)はいずれも早期健全化基準を下回り、健全な数値を示している。

しかし、今後は過疎対策事業、上下水道施設の改良・更新、また公共施設の老朽化に伴い改修・建替え等の事業に村債発行・基金の取り崩しが予想されるので、将来負担軽減と健全な財政運営が求められる。

## 令和2年度一般会計・特別会計歳出決算の総括表

(単位：円)

会計	予算額	支出済額	次年度への繰越額	不用額	執行率		
					令和2年度	令和元年度	
一般会計	3,358,236,000	2,955,147,069	120,110,000	282,978,931	91.26%	89.35%	
国民健康保険特別会計	事業勘定	336,466,000	310,893,761	0	25,572,239	92.40%	87.88%
	直診勘定	175,291,000	168,155,693	0	7,135,307	95.93%	81.36%
簡易水道事業特別会計	228,499,000	209,322,804	0	19,176,196	91.61%	96.96%	
村営バス事業特別会計	34,396,000	32,885,281	0	1,510,719	95.61%	95.76%	
下水道事業特別会計	183,827,000	175,916,355	0	7,910,645	95.70%	97.01%	
介護保険特別会計	500,129,000	473,730,611	0	26,398,389	94.72%	88.15%	
後期高齢者医療特別会計	41,742,000	40,538,687	0	1,203,313	97.12%	97.61%	
特別会計合計	1,500,350,000	1,411,443,192	0	88,906,808	94.07%	90.86%	

※ 不用額・執行率は、次年度への繰越額を除いて算出してあります。

### (別表) 健全化判断比率の状況 (単位：%)

年度	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
30	(△8.2)	(△11.1)	7.8	(△121.6)
元	(△6.0)	(△8.6)	8.7	(△126.5)
2	(△10.0)	(△12.5)	9.7	(△128.1)
早期健全化比率	15.0	20.0	25.0	350.0
連結実質赤字比率	20.0	30.0	35.0	

※ーは黒字のため数値なし。  
※実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率が黒字の場合( )内に負の値で表示

## 一般会計決算

### 賛成討論

新井幹夫 議員

村の財政状況を見ると自主財源は15・9%で依存財源に頼った財政運営である。しかし、村民税・固定資産税・使用料等に未納状況があるので、収納に努力されたい。

当初予算では、財政調整基金の取り崩しを予定していたが、取り崩さず

決算できたが、予算編成時にもっと精査すべきではないか。そして、村に元氣をもたらす補助金事業も、利用状況を検証して多くの人が使用し易い補助事業にしていたいただきたい。

鎌倉一夫 議員

令和2年度はコロナ禍のために予定した事業が中止・縮小され、不用額は2億8千万余りとなった。

不用額が多いと決算認定時には計画的な予算立てと執行が求められると共に、予算化した事業は一日も早い実施が村民益につながると思う。

収納未済について、滞納繰越分はタイムリングを逃さず回収に努めてほしい。

本村の自主財源は低く依存財源に頼らざるを得ないが、過疎債等を活用して魅力ある村づくりを期待したい。

西沢榮之助 議員

村の財源は自主財源が

15・9%、あとは交付金に頼るといふ財政内容である。

令和2年度は歳入31億7千万、歳出29億5千万で不用額が10%以下ならば適正な予算執行と考えている。

また、財政健全化比率も健全な数値である。

令和2年度は、コロナ感染症対応臨時交付金が歳入となり、予算執行には恵まれたが、今後も議会の意見も踏まえて小川村発展に努力していただきたい。

西沢哲朗 議員

令和2年度の一般会計の決算は歳入31億7千万余、歳出29億5千万余と繰越額は2億1千万余となった。

当初は財政調整基金を取り崩す予算であったが、決算時には回避できたことは評価したい。

村税の内、職員努力により確保できるものは村民税・固定資産税・使用料等であるので、更なる収納努力を期待したい。歳出では、交付金・補

助金等の多さが気になる。人口減少と共に、財政規模の縮小が予想されるので事業内容を見直す時期である。

国民健康保険 特別会計決算

賛成討論

西沢哲朗 議員

令和元年度決算では、国保税未納額は現年度分で6万円、過年度分と合わせて70万円であった。

2年度決算は、未納額59万円、過年度分を合わせると100万円に増加し残念である。

収納率100%を目指し努力されることを期待し承認する。

議案第40号

小川村過疎地域持続的発展計画の策定

昭和45年、人口と財政力を判断要件に、議員立法として過疎地域対策緊急措置法が制定され、過

疎と判断された市町村は、

① 過疎対策事業の支援

(充当率100%、元利償還の70%を交付税措置)

② 国庫補助金の率の嵩上げ(50%→55%)等の措置を令和2年度末まで受けてきた。

令和3年度の過疎新法施行に伴い、前記のような措置を享受するには計画の策定を要するものである。

賛成討論

西沢哲朗 議員

この計画策定は過疎である小川村が、自立した自治体として存続していくためには重要な計画である。

財政力指数0・14の小川村が事業を行うには、地方交付税や補助金、支出金・起債に頼らざるを得ない状況である。

また、経常収支比率も高く財政に余裕が無いため、起債に頼る比重が大きくなると思われる、計画書策定に賛成である。

久田茂男 議員

令和3年度に過疎新法が策定され、令和13年3月末までの10年間の期限だが、今回は令和7年度までの5年間の計画策定である。

今まで支援措置として過疎債の適用、国庫補助率の嵩上げ等を受けてきたが、振興計画・公共施設等管理計画を実施していくためにも、この計画の策定に賛成である。

議案第47号 一般会計補正予算(第4号)

感染症対応臨時交付金を活用した事業を実施する。

総務費

高校生・大学生等の保護者に交付する「学びの応援事業」

民生費

中学生までの児童・生徒を対象にした「子育て支援事業」交付金

衛生費

保健センターへのエアコン設置

商工費

飲食店等支援交付金事業

議案第43号

簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

基幹改良事業として、設置から20年を経過した中央監視装置を更新する。成就浄水場流量調整弁の交換及び塩沢浄水場の流量計の交換経費を計上。

陳情審査報告

(次ページ陳情審査報告をご参照ください。)

賛成討論

西沢榮之助 議員

沖縄の辺野古新基地建設は着手されているが、本年2月の沖縄県民の投票結果は72%が反対だった。また、埋め立て用土砂は、沖縄戦の戦没者の遺骨が混ざっており人道に上許されるものではない。遺骨交じりの土砂を用いての基地建設の中止を求め、慎重な継続審査を望むものである。

令和3年9月定例会 議員・議案ごと賛否一覧表

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席 (議長は議決に参加しないため空白)

議案番号	議案の内容	審議結果	新井 幹夫	西沢 榮之助	伊藤 幸光	久田 茂男	大久保利廣	鎌倉 一夫	大日方義次	西沢 哲朗	小林 和人
9月定例会											
36	専決処分事項の承認(小川村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	
37	専決処分事項の承認(小川村手数料条例の一部を改正する条例制定について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	
38	小川村過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
39	小川村国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
40	小川村過疎地域持続的発展計画の策定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	令和3年度一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
42	令和3年度国健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
43	令和3年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
44	令和3年度村営バス事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
45	令和3年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
46	令和2年度小川村歳入歳出決算の認定	一般会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○
		国民健康保険特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○
		簡易水道事業特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○
		村営バス事業特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○
		下水道事業特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○
		介護保険特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○
47	令和3年度一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
48	小川村監査委員の選任(議会選出委員:伊藤幸光議員の再任)	同意	○	○	退	○	○	○	○	○	
9月定例会に提出された発議・請願・陳情											
発議											
発議2号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書(国へ意見書を提出)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願											
請願1号	「国の責任による『20人学級』を展望した少人数学級のさらなる前進」を求める請願(国へ意見書を提出)	小川村教職員組合代表 高松万梨絵		社会文教常任委員会		採択					
請願2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書」採択を求める請願書(国へ意見書を提出)	小川村教職員組合代表 高松万梨絵		社会文教常任委員会		採択					
請願3号	国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付奨学金制度の確立を求める請願(国へ意見書を提出)	小川村教職員組合代表 高松万梨絵		社会文教常任委員会		採択					
請願4号	地域高校の存続と30人規模学級を求める請願(長野県教育長へ意見書を提出)	小川村教職員組合代表 高松万梨絵		社会文教常任委員会		採択					
陳情											
陳情2号	辺野古新基地建設の中止と普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	「新しい提案」実行委員会 安里長従		総務建経常任委員会		継続審査					



一般質問

鎌倉一夫議員



# 安全な通学路確保が急務

## 村長 早急に策を講じる必要あり

問 鶴牧田団地からの通学路については、道路沿いの階段を整備し新たに手すりも取り付けて対応してきた。

しかし、一部の通学路の改善はできたものの、決して安全とは言える状況ではない。地元や保護者からも早急に対処して欲しいとの強い要望もある。如何か。

村長 以前から鶴牧田団地からの通学路については、歩道部分が狭く危険であることの認識をしている。

村として県に対して、どんな対策が出来るか依頼をしている。

問 6月28日、千葉県八街市でトラックが小学生5人をはねる死傷事故が発生した。

この事故を契機に、国は公立小学校に通学路を対象に点検を行うことを決めた。

今後の対応を伺いたい。

教育長 児童生徒が安全に学校生活を送れるよう

に小学校安全マップを作成し、各家庭に配布し周知している。

通学路における合同点検については、建設事務所、警察、学校、PTA、建設経済課、教育委員会

で9月22日に実施を予定している。

### 土石流災害

村は万全か

問 7月3日、静岡県熱海市で土石流が発生し、130棟余りの家屋が倒壊、死者26名、行方不明者1名となる甚大な災害が発生した。

その原因の一つとして盛土の崩壊が土石流の引き金となったと言われている。

本村においても公共事業時に排出された残土を

時間と多大な経費が必要となる。

現道の下側に新たに通学路を確保することを提案するが如何か。

村長 県道下側への歩道確保について考えたことは無かった。

早々に可能なか有識者と現地を確認し検討したい。

村内各地に埋めて処理してきた経過がある。

盛土の場所や土量など行政として把握しているのか。安全は確保されているのか合わせて伺いたい。

村長 熱海での災害を踏まえ、県を通じて緊急点検を実施し、危険個所については土地所有者、関係者に注意喚起をする。

また国の調査による該当箇所は6カ所で調査中である。

### 合併浄化槽

#### 維持管理費

#### 下水道使用料と同等に

問 本村において下水道が供用開始したのは平成7年。小型合併浄化槽については平成4年から普及に努めている。

小型合併浄化槽は現在164戸で設置されているが、未設置戸数は80戸余りで未だ進まないのが現状である。

その要因として下水道に比べて合併浄化槽の維持費の負担が大きい事が考えられる。

一例として7人槽では、保守点検、法定検査、汚泥処理費、電気料を含めると年間約8万円ほど支払うこととなる。

また、故障した場合は全て自己負担となり、下水道に接続した場合と比べて、年間最大5万円の差額が生じてくる。

この現状をどう捉えているのか伺いたい。

村長 過去において浄化槽の維持管理費と下水道の使用料は同じくらいだと答弁してきた。しかし調査の結果、差があることを認識した。

問 合併浄化槽を設置したのは村からの指導であり、同じ村民でありながら住んでいる場所が違うだけでこの違いは納得できない。

下水道利用料と同等となるよう支援することを求めたい。

村長 全国では合併浄化槽に補助を出している市町村もあり、補助内容は様々である。

いづれにしても行政の事情で差が生じていることは事実であり、補助を検討する必要があると考ええる。

意見 今、浄化槽の設置を検討している世帯への後押しになれば幸いです。設置戸数が増えることで公衆衛生向上につながることを望みたいです。

# 来年4月の村長選への出馬は

## 村長 今は、誠心誠意 残任期間の任務を 全力で全うすることが大前提



一般質問  
新井幹夫議員

問 定例会での一般質問は、村民目線、村民の声を村政に届けることが出来る大切な議員活動であり、そこから暮らしやすい村が出来ると思っている。

また、新型コロナウイルスの接種が若年層の皆さんにも開始されたことは、大変ありがたいと感じている。

来月4月9日に任期満了を迎える村長選挙に出馬をされるのか伺いたい。

村長 平成30年4月の就任以来4年の任期の最終年を向かえた。

この間、議会をはじめ村民皆様のご理解と職員の方々のご協力をいただき、各種の事業に取り組みさせていただいた。

しかし、この2年余りは新型コロナウイルスの状況下で村政運営上でも大きな影響が出ている。

特に、身近な会議となる行政懇談会も初年度1回のみ開催であり、計画した事業や、イベントなども中止となっている。

このような中、村が現在置かれている現状で

は、人口減少・少子高齢化が長期的な課題である。

特に直接的な施策として移住・定住を目的にした村営住宅の建設である。

令和元年度に4棟の村営住宅の建設し、さらに来年度の建設に向けた用地の確保・造成を進めている。

また、関係者から要望があった道の駅リニューアルだが、村の賑わい・情報発信機能の強化と直売所の売り上げ増加で農業振興にもつながると思っている。コロナ禍ではあるが、効果が出ていると聞いている。

その他、簡易水道基幹改良、橋梁維持補修事業等を継続していく。

さらに、地方創生臨時交付金（コロナ対策）事業について、総額2億6千万の交付を受け、経済対策と診療所改修工事などに取り組んでいる。

任期も残り半年となり、まずは誠心誠意、残任期間の任期を遂行することが大前提だと考えている。

### 高等学校通学費補助の増額を

問 高等学校通学費の補助について、交付要項で

年額9万6千円（月額8千円）と定期券購入補助で月額8千円を超えた額の1/2となっているが、これを、更に大幅に増額をして、保護者の負

担軽減を図るべきと考えが如何か。

教育長 私も、このことは教育政策上と、活力ある村づくりのために大事なことでと考えている。

毎年、小学校・中学校・高等学校（具体的な金額は省略）には補助をしている。

高校生への通学費補助

は、平成20年から始まり現在48名に補助している。今年度も定額分は増額をしている。

少子化が進むと保護者負担をさらに軽減をさせる必要があると考えている。

要望 是非とも令和4年度予算に増額要求して頂きたい。

### 8月の大雨

#### 住民への周知は適切か

問 8月の前線停滞による大雨対応について、住民への周知は適切だったのか。

また、担当課では、広報6月号で周知しているとのことであるが、この様なことで住民の命が守れると思うのか伺いたい。

村長 今回の豪雨で県内では大規模な災害が発生したが、村内では大きな

災害の発生はなかった。ご指摘の住民の方々への周知について、広報だけでは十分でないと思っ

ている。

今年の5月20日に法改正が行われたが、そのことにより広報でのお知らせとなった。

防災訓練等があれば、その場で消防団員から説明したいと考えていたが、実施できなかった。

8月14日午後1時に対策本部



増水した土尻川（鴨之尾橋より）

を設置して情報収集をおこなった。住民に不安等が無いよう、防災無線を活用し、さらなる情報の提供を行いたいと考えている。



# 安心して遊べる野外公園の設置を

## 村長 是非検討したい

一般質問  
西沢榮之助議員



### 子育て支援

問 子育て中の皆さんは、親子で安心して遊べる野外公園の設置を希望している。

5年前から一般質問でも要望してきた。しかし実現できなく、現在に至っている。

稲丘西地区の子育て中の皆さんは、これでは「子育て世代のニーズは充足されない」として、大洞の野外ステージを中心に「遊びの場」を企画し活動している。

村長の考えを伺いたい。

村長 第六次振興計画策定時のアンケートにも、要望があった。

設置については子育て用の公園だけでなく、観光や交流の場、イベント等幅広く利用できる場所になるよう考えたい。

大洞高原も、積極的に有効利用していることは有難いことである。要望は直接聞いてもいる。利用方法等を踏まえ是非検討したい。



「遊びの場」で水鉄砲で遊ぶ子どもたち

### 行政区別の子ども的人数(令和3年9月1日現在)

区	6歳以下	小学生	中学生	高校生等	合計
夏和	7	11	4	9	31
高府町	20	22	18	19	79
花尾	0	2	2	1	5
上野	14	13	11	11	49
小根山町	3	7	4	3	17
立屋	2	3	0	0	5
上和	2	7	2	1	12
稲丘東	1	0	0	0	1
稲丘西	10	6	4	1	21
成就	1	1	1	1	4
北尾	0	0	1	1	2
瀬戸川	0	1	1	1	3
馬曲	1	0	0	0	1
川手	0	0	0	2	2
古山東	2	0	0	0	2
小計	63	73	48	50	234

(合計数が0人の区は省略)

### 地区要望

交付税増額が見込まれる中での対応は

問 昨年から、コロナ感染症対策に迫られた年でもあった。

村長任期最終年の下半期となったが、政策実現について村長の決意を伺いたい。

村長 当初予算の編成時は、交付税の減額など厳しい財政になる見込みで基金に頼らない予算編成に努めた。  
現段階に至っては、収入増が見込まれる状況で

ある。地区要望に出来るだけ応えたい、そのため6月に土木費で2千万円を、今議会に1千5百万円の補正予算を盛り、積極的に取組んでいく。

### 人口対策

宅地・住宅・分譲について

問 当初予算で、宅地購入費が盛ってあった。現状を伺う。

村長 場所は大久保地籍で、面積は960㎡である。7月に契約、登記もす

んでいる。11月下旬には造成も完了予定である。

問 住宅政策は、これまで移住者中心であったが、今後は村内の若い方の対応も必要と思う。分譲についても伺いたい。

村長 村営住宅は、現在満杯の状況である。住宅建設は、年に3棟か4棟が目標になる。

分譲については、土地開発公社が発足以来44区画分譲してきた。上野分譲地も完売であり、手持ちが無い状態になった。場所の問題もあるが、用地も是非検討したい。

### 常勤医師の定着を

問 診療所の医師について対応を伺いたい。

村長 現在は、10名の医師で対応している。

長野保健所からの指導もあり、一日も早い常勤医師の着任を目指し募集をしているところである。

一般質問  
久田茂男 議員



# 国土強靱化地域計画の取組み

## 村長 大規模災害の備えを効果的に進める



崩落した村道 18 号線 (久木地区)

問 小川村の国土強靱化地域計画案が策定され、今の小川村地域防災計画を補完する中身は、今以上に強靱化していくと言

村長 国土強靱化計画は国が進めているものであり、今回各自自治体で取り組んだものは、国または県の指導により、小川村ではこの3月に策定した。国が策定した国土強靱化基本法に基づき、過去

に村で発生した災害等の教訓を踏まえたもので、大規模災害への備えを効果的に進めるために策定したものである。

村長 村ができるものはある程度は限りがあるが、具体的に防災減災国土強靱化の五ヶ年加速化計画で、土尻川砂防事務所管轄の通常砂防ということで、落畑の島田沢、薬師沢、味大豆の地すべり対策、表立屋、法地、花尾、神楽岡、急傾斜地対策で夏和の大

問 国土強靱化地域計画の道路整備事業の道路修繕について、急傾斜地で無理に開けた道路もあり、災害防止の完全な予防対策を講じることは不可能であると思うが、村道1級線6線、2級線11路線について、交通安全対策のための支障木や倒木等、救急車等が安心安全に通

村長 地域の方々地元の方々が日常生活の中で、降雪時にはこれが支障木、あるいは大雨降ったところが危険箇所だとか道路上の事故防止の観点から、草刈も含めて地域要望と認識し、対応している。

問 災害時の非常食品の備蓄は

問 災害時の非常食品や

物資の貯蔵管理はどの様

村長 人口の5%の数値で

防災訓練等の際に配布しながら更新している。食料等の備蓄は、法や計画で決められたとおりに行っており、特に問題はないと認識している。

### 上下水道施設の災害時対応について

問 上下水道関係の災害発生時の対策だが、村内には58箇所の配水池、減圧槽があり災害発生時は緊急遮断弁が必要であると思うが如何か。

村長 村内に浄水場は3箇所あり、薬師浄水場と成就浄水場は連携しており、塩沢浄水場と成就浄水場は、繋がっていない。しかし、管路はつながる状況であり、大きな不便にはならない。

### 小川村過疎地域持続化発展計画について

問 第6次小川村振興計画、小川村まち・ひと・しごと総合戦略の各計画と小川村過疎地域持続化発展計画の中の集落機能の維持について伺いたい。

村長 区や組の統合について、行政としては、極力いろんな面で一緒になった方が地域のためにもやりやすいこともあると思うが、村が主導するわけにはいかない。支援と協力はしたいと考える。地域の生活センターの維持管理は、それぞれの地域の皆様方が行っている施設であり、村としては何も言える立場にはない。利用頻度が少なくなる施設の増加も、当然将来的には考えられる。



委員会報告

総務建経常任委員会

閉会中の委員会活動

令和3年8月24日、委員5名と議長、委員外出席で3名及び各担当課長・職員が出席し、閉会中の所管事務調査を行った。

管内視察

成就浄水場・成就配水池

浄水場について

今後も安全で安心して使用できる水道水の維持管理のために、建設後40年を経過している管理棟などの施設修繕について、現在、管路の基幹改良を優先しているが、その事業が済み次第に実施するとのことである。時間がたてば費用も増

えるので早急に検討されることを要望した。



老朽化が目立つ成就浄水場



錆ついた送水管

所管事務調査

建設経済課関係

水道制御システム

更新に、約4500万円の前年度であり、システムをすべて作り上げるもので多額になる。4割が国庫補助、残り半分が過疎債、もう半分が簡水債である。

この更新費用は、警報等の信号を受けるシステムのため、現場のセンサー等も老朽化するのでその時点で交換していく。



成就配水池

大洞地場産センター

高齢化により、今年12月で閉店となるが、清算等で年度いっばいかかる見込みである。来年度は新しい経営者を募集していく予定とのこと。



災害のあった村道12号線 (桐山神楽岡)

指定管理は5年契約であるが、途中での契約破棄は申し出によるもので問題はない。

総務課関係

地域おこし協力隊の現況

平成24年から始まった地域おこし協力隊員事業の村の実績は、令和3年度までに24名の隊員を受け入れ、多い時には年間10名の隊員が在籍していた。3年間の活動後は、小川村に定住され、起業や村内への就職等が多い状況である。

起業支援金

地域おこし協力隊の中

で起業支援金を利用した方は8名いるが、支援金の支給は、国の制度の中で協力隊の最終年度または任期終了後1年以内に行われる。

今後の協力隊について

現在の協力隊員は3名であり、リング農家の手伝いや、農林公社の仕事を行っている。生業づくり、起業が大きな活動目的であり、村としては支援をしている。

活動状況については毎週提出の報告書により、活動内容を把握している。生業作り以外にも地域支援活動を勧めており、イベントやワークショップを行い、地域との繋がりの中で重要な活動を行っている。協力隊員として活動された方のうち、1期目3名の女性のご結婚され、村に住んでおり、定住率は国と同様の数値であると感じる。

今後も、隊員を募集していく予定とのことである。

豪雨災害  
前線の停滞による7月10日の豪雨による災害は、桐山神楽岡をはじめ、13か所で発生した。また、8月13日のお盆中の大雨についても、3日間の連続降雨量が約190ミリとなり、村道19か所、林道2か所、砂防1か所、林務2か所で、災害が発生した。委員会時の通行止めの個所は、神楽岡・二反田・表立屋下の3か所である。一日も早い復旧を願うものである。

委員会報告

社会文教常任委員会

閉会中の委員会活動

8月19日、委員3名のほか議長、委員外出席4名、担当職員の出席のもと、現地視察と所管事務調査を行った。

管内視察

福祉企業センターの現況を視察

指導員はセンター長を含めて5人体制。利用者の定数は30名であるが現在登録者は21名である。令和2年度の作業収入は950万円余りで、受注先は主に9社である。本年度も同様であるが、新規取り引き先の開拓に努力中とのことであった。



企業センターの作業状況

サンリング高齢者住宅の利用状況

生活福祉センターには一人部屋6室、二人部屋2室があり、比較的自立している方が一人部屋の3室に入居されている。生活支援ハウスには、一人部屋8室、二人部屋

1室があり、そのうち一人部屋が3室利用されている。

令和2年度に、感染症対応臨時交付金を活用して、全室にエアコンが設置されると共に、水道が自動水栓化され、高齢者にとって快適な施設となったと感じた。また、夜間は援助員室に宿直者が配置され、安全にも配慮されていた。



サンリングの生活支援ハウス

所管事務調査

住民福祉課関係

コロナワクチン接種状況

接種率は現時点で65歳以上は約90%、16～64歳は約70%であるが、最終的に80%を見込んでいます。12～15歳は希望者に個別接種を計画しており、対象者72名中46名が希望

診療所の体制

6月末の小出医師退任に伴い、小林病院の副院長が診療所管理者に就任され、さらに複数の病院・医院のご協力をいただき、診療体制を整えている。また、常勤医師については、県や国保連を通じて探している状況である。

火葬場関係

煙突は経年劣化が著しいため、令和2年度に上部をステンレス巻きをして補強した。下部については施工方法を検討中である。早期の補修の実施を要望した。霊柩車も錆が目立ってきたので、部分補修を考えている。

教育委員会関係

成人式

「令和3年小川村成人式」は、8月14日に延期されていたが、コロナ感染警戒レベルが引き上がったために再度延期し、令和4年1月3日の午前中に行われることとなった。

修学旅行について

小学校は、9月15～16

日に金沢方面に計画していたが延期をする。中学校は、11月4～7日で関西・広島方面を予定している。

社会教育関係

社会教育活動はコロナ禍のために、ほとんどの事業が中止となっている。

公共施設

ALT(外国語指導助手) コロナ禍で出入国が規制されていたため、引継ぎが出来ないでいたが、今回帰国する現任のアン先生に代わって、9月12日に新任のサラさんが来日予定である。びつくらんどのプールの配管設備、また体育館の天井について、公共施設個別計画に沿って、修繕・改修を進めるべきではないかとの意見も出された。



議長 小林和人

申し合わせ任期に伴う後期2年間の人事再構成議会が行われ、再び議長として務める事になりました。議会共々に宜しくお願い致します。

議員として15年、議長



副議長 鎌倉一夫

この度の改選で、議員の皆様からご推挙を頂きまして、副議長を仰せつかりました。

若輩者で経験不足の私が議長を補佐する事は大変な重責であり、身の引

として3年目となります。村の自立、合併の最終判断時に議員となり、皆様と意見交換や考え方を伺った事が思い出されます。議員定数削減化が

周囲の雰囲気にも議会経費削減名目で11人の定数から10人にもなりまして。今では、自立して良かった。今では、自立して良かった。議員定数は削減しない方がとの声が多く聞こえる状況下になって

います。公金使用問題にも議会

き締まる思いであります。

しかし選任されたからには、その期待に応えられるよう全力で努めて参ります。

今はコロナ禍であり、

議員活動や議会活動が思うようにできない日々が続いていますが、これからも行政の監視はもとより、議会の活性化を図りながら、村民にとって身近な議会となるよう日々努力し、村民の皆様と共に

が大きく揺れました。また、行政サイドにおいては村を二分した首長選挙が行われ、今尚「しこり」を感じています。

元副議長の突然の死去に伴い、急遽の再構成から2か月で今回の人事再構成となりました。個人志向でなく、村民の代弁者で内外に誇りの持てる議会であるように努めます。

# 就任あいさつ



総務建経常任委員会 委員長 新井幹夫

今回の議会構成で総務建経常任委員長を務めることになりました。



社会文教常任委員会 委員長 西沢哲朗

今回の議会構成で社会文教常任委員長を務めることになりました。

私としては、二回目の委員長となります。

この委員会の所管は、総務課の企画、財政から建設・経済課の道路、上、下水道、農業、産業、商工観光まで幅広い分野を担当することになります。

幅広く、課題も大変多くあります。年4回の定例会の審議から村民の付託に積極的に答えていく必要があると考えております。

これまで以上に、この村に住み続けたくなる村になるように努力していく所存であります。今後2年間、委員各位のご協力を得ながら活発な委員会としたいと考えております。

行政との連携を図り、議会の役目も果たし、村民の付託に答えて行くつもりでおりますので宜しくお願いします。

小川村は、年々人口が減少しており過疎化も人口に反比例するように進んでおりますが、こうした中でも村民の皆さんが安心して暮らせ住み易く活力のある村となることを求められております。

当委員会は社会福祉や環境衛生、子育て支援・教育関係等を担当しておりますので、社会保障制度の原点となった「揺りかごから墓場まで」の精神を思い出し、安心して

暮らせる村づくりに取り組んで参りたいと思っております。そのためには、子育てのし易い環境整備や高齢者が元氣を出せる環境を作ることが特に重要と考えております。

委員の皆さまと知恵を出し合い、審議を重ね、行政と連携を図りながら目標達成に向けて努力して参る所存ですので、宜しくお願いします。



# 第17代小川村議会構成

令和3年10月1日～令和5年9月30日(申合せ任期)

議長 小林 和人 副議長 鎌倉 一夫 監査委員 伊藤 幸光

委員会	総務建経 常任委員会	社会文教 常任委員会	議会運営 委員会	議会報編集 特別委員会
委員長	新井 幹夫	西沢 哲朗	西沢 榮之助	久田 茂男
副委員長	久田 茂男	西沢 榮之助	新井 幹夫	大久保 利廣
委員 1	大久保 利廣	伊藤 幸光	鎌倉 一夫	新井 幹夫
委員 2	大日方 義次	鎌倉 一夫	西沢 哲朗	西沢 榮之助
委員 3				鎌倉 一夫
長野広域連合議員	小林 和人	鎌倉 一夫		
小川村消防委員会委員	新井 幹夫	大久保 利廣		大日方 義次
人権を尊重し差別のない明るい 小川村を築く審議会委員	鎌倉 一夫	西沢 哲朗		

## 議会の動き

8月	9月	10月	11月
19 社会文教常任委員会 24 総務建経常任委員会 26 議会運営委員会	2 9月定例会招集 9月 全員協議会 3 本会議 発議審議 6 本会議 議案説明 9 本会議 一般質問 10 社会文教常任委員会 15 総務建経常任委員会 24 本会議 質疑 27 全員協議会	1 9月定例会最終日 15 本会議 議会構成 21 議会報編集特別委員 25 期総会 28 県町村議会議長会定 期総会	4 村功労者表彰式 29 小学校音楽発表会



## 編集後記

台風や前線の接近停滞により稲刈り、脱穀野菜・果樹等の収穫に予定通りできない事がありました。大きな被害報告も無く良かったと思います。

新型コロナウイルス感染症予防対策の中「オリンピック」・「パラリンピック」が一年遅れて無観客での開催となり、多くの選手の活躍に感動したところです。

県内で7月から拡大が続いた新型コロナウイルスの感染「第5波」はほぼ収束との見解です。

村のワクチン接種対象数の80%以上が2回目を終了していますが、引き続き感染予防対策に注意が必要です。

今議会では申し合わせの任期により、議会構成が行われ、議会報の編集は5名の委員が担当することになりました。

「見易い・読み易い・分かり易い」議会報にむけて一層努力してまいります。

編集委員長 久田茂男

## ●年末年始のご挨拶は失礼させていただきます。

公職選挙法の規定により、議員が年賀状などの挨拶状を出すことは制限されています。

小川村議会議員一同